

辺野古埋め立て土砂搬出反対ニュース

北九州連絡協議会《2016年3月17日・No45》

連絡先…森下宏人 090-9495-3902 八記久美子 080-1730-8895



心強いです!!



《全国港湾》に 辺野古基地建設反対対策委員会 翁長知事とも面談

北九州連絡協議会は、5つの団体から共同代表を構成していますが、その一つが、全日本港湾労働組合関門支部。略称「全港湾関門支部」です。その上部団体《全国港湾》が、先日沖縄を訪問されました。また、5月には、全国港湾の役員さんたちが、北九州に来られ、土砂搬出予定地を見学される予定にもなっています。

全国港湾とは…日本の北から南まで、港で働く港湾労働者で一般港湾運送（元請、ステベ）、港湾荷役（船内、沿岸）、はしけ運送、いかだ運送、検数、鑑定、検量、港湾関連、トラック、倉庫、その他関連事業の職種別労働者の労働組合が結集した、港湾産業別労働組合です。

【全国港湾のニュースから転載】

全国港湾は辺野古基地建設反対対策委員会を立ち上げ、3月1日から4日まで、新基地建設反対現地行動を取り組んだ。3月2日には6時半から、米軍キャンプ・シュワブゲート前での辺野古新基地建設の現地座込み行動に参加した。午後から辺野古周辺及び普天間飛行場を視察した。

3日10時30分から、沖縄県庁で翁長沖縄県知事と面談を行った。面談では、「辺野古新基地建設に反対する決議」を手渡し、糸谷委員長は、新基地建設に使う埋め立て土砂の搬出・搬入が港湾で行われることに対して、反対運動を取り組む決意を伝えた。

翁長県知事は、「全国民が日本の地方自治の問題、民主主義の問題としてとらえないと解決しない。このような形で応援をいただけることに感謝する」と応えた。面談後、辺野古基金への募金100万円を辺野古基金事務局へ手渡した。



面談の様子。記事・写真とも全国港湾のHPより転載

- 期間…4月17日(日)～19日(火)
- 費用…飛行機と宿泊約3万円+食費や県内移動費など
- 募集人数…若干名「全国全体で30名」
- 今回の特徴…今回のツアーは、辺野古土砂全国連絡協議会と沖縄との学習交流会です。ゲート前・大浦湾を初め、学習の時間もたっぷりあります。組織的な取り組みならではの内容です。
- 申し込みは…080・1730・8895八記まで

ご案内

沖縄ツアー第2弾